

平成23年度の財務4表（普通会計）を公表します

これまでの公会計制度は、その年にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産などの情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。

そこで、市では、それらの弱点を補うため、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づき、新し

い財務書類を作成しています。

なお、昨年度までは、総務省方式改訂モデルという方式で作成していましたが、平成23年度決算からは、市の資産を正確に把握するための固定資産台帳が整備されたことから、基準モデルに切り替え、財務書類を作成しています。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58-2111（内線1230）

貸借対照表（バランスシート）とは？

市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなってきたかを総括的に対照表示したものです。左右がバランスしているため、バランスシートとも呼ばれます。

資金収支計算書とは？

歳計現金（＝資金）の出入りの情報を、性質の異なる3つの区分（経常的収支、資本的収支、財務的収支）に分けて示したものです。

行政コスト計算書とは？

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接対価として得られた財源を対比させたものです。

純資産変動計算書とは？

貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを示したものです。

貸借対照表（バランスシート）		単位：百万円	
資産の部		負債の部	
1 金融資産	10,650	1 流動負債	1,550
債権、投資など		預り金、公債（短期）など	
2 非金融資産	50,352	2 非流動負債	16,277
事業用資産	19,142	公債、引当金など	
（有形固定資産・無形固定資産など）		負債合計	17,827
インフラ資産	31,210	純資産の部	
（公共用財産用地・公共用財産施設など）		純資産合計	43,175
資産合計	61,003	負債・純資産合計	61,003

資金収支計算書		単位：百万円	
1 経常的収支	2,628	行政コスト計算書 単位：百万円	
（1）経常的支出	12,318	経常費用	
（2）経常的収入	14,946	1 経常業務費用	6,160
2 資本的収支	△2,867	人件費、物件費など	
（1）資本的支出	2,934	2 移転支出	
（2）資本的収入	67	他会計への移転支出など	6,792
基礎的財政収支	△239	経常収益	695
（プライマリーバランス）		1 業務収益	363
		2 業務関連収益	331
		純経常費用	12,258
		（純行政コスト）	
3 財務的収支	432	純資産変動計算書 単位：百万円	
（1）財務的支出	1,377	期首純資産残高	
（2）財務的収入	1,808	（イ）財源変動の部	
当期資金収支額	193	1 財源の使途	15,681
期首資金残高	1,536	純経常費用への財源措置など	
期末資金残高	1,729	2 財源の調達	15,411
		税込、移転収入など	
		（ロ）資産形成充当財源変動の部	2,817
		（ハ）その他の純資産の変動の部	△1,092
		当期変動額	1,455
		期末純資産残高	43,175

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計額と一致しない場合があります。